

令和元年度 厚木北高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	○法令を遵守し、公私の別を明らかにして、生徒・保護者・県民の信頼を得る。	○事故防止会議や職員打合せ等を利用し、教育公務員の立場を常に自覚し、生徒・保護者に対して職責を果たすように、プロ意識の強化を図った。 ○事故防止会議で「コンプライアンスマニュアル」を利用しながら注意喚起を行ったが、記載内容が豊富で概要を説明する程度になってしまった。効果的な活用方法については再検討する必要がある。
②わいせつ・セクハラ行為の防止	○わいせつ・セクハラ行為の発生を未然に防止する。	○生徒とのSNS等の利用の禁止を徹底できた。 ○「生徒の携帯電話・電子メールの適切な収集及び連絡方法について」のルールを全職員に理解させることができた。
③体罰、不適切な指導の防止	○生徒への体罰や不適切な指導を防止する。	○複数の職員で生徒対応を行い、その指導内容も記録することができた。 ○5月に外部講師を招いて、職員参加型の「体罰防止」研修会を開催し、不適切指導を防止することができた。
④入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○各業務に関するマニュアル等を厳守した適切な事務処理の徹底を図る。 ○職員同士の相互チェック機能の強化を組織的に取り組む。	○事故防止の観点から、入選マニュアルをカラー印刷する計画であったが、予算の関係で実現できなかった。そのため、各業務ごとに担当者がマニュアルを詳しく説明し、事故なく実施することができた。 ○試験期間中はシュレーダーの使用を中止し、答案用紙の誤廃棄を防止することができた。 ○調査書発行に於いては、マニュアルに基づいて作成を行い、事故なく発行することができた。校内推薦会議に関しては、会議の手順を再度検討し、一部マニュアルの見直しを行った。
⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	○生徒等の個人情報をルールに従って適切に収集、管理し、紛失、漏洩防止に取り組む。	○教務手帳は指定のロッカーに保管し、管理職による返却の点検ができた。 ○個人情報持ち出し手続の励行は徹底することができた。 ○貸出し用USBメモリの棚卸しは定期的におこなったが、貸出し期間が長期になる職員が見られた。
⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通法規の遵守に努めるとともに、交通違反や交通事故を防止する。 ○酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	○啓発資料を活用した研修を行い、職員の意識を高め、組織的に取り組むことができた。 ○事故防止会議等で「交通事故防止」「飲酒運転は同乗者も免職」等の注意喚起を図ることができた。

<p>⑦業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）</p>	<p>○書類の整理・保管を徹底する。 ○危機管理意識の徹底と不祥事防止を図る。 ○業務遂行の無理をなくし、適正な業務遂行環境を確立する。</p>	<p>○起案・決裁等を確実にし、決裁済みの文書はキャビネットに適切に保管することができた。 ○業務ごとに、管理職より危機管理意識を喚起し、不祥事の未然防止を徹底することができた。 ○各グループリーダーにより、職員の業務遂行状況を的確に把握し、一部の職員に業務が集中していないか点検し、適正化を図ることができた。</p>
<p>⑧会計事務等の適正執行</p>	<p>○備品管理の適正化を推進する。 ○不適正経理を防止する。 ○不適切な現金取扱を防止する。</p>	<p>○備品の現物照合を確実にすることができた。 ○会計事務等の適正執行の徹底を図れた。 ○日頃から私費会計基準に則った会計処理の注意喚起を行い、事故防止に努めたが、一部支払い遅延が起きてしまった。</p>
<p>⑨部活動指導の点検</p>	<p>○部活動の目的や活動の意義を再確認し、安全に配慮した活動を行う。</p>	<p>○各学期ごとにアンケート方式で部活動総点検を行い、状況に応じて聴き取り調査も実施し、望ましい環境で活動しているか、確認することができた。</p>
<p>⑩採用後5年未満の経験の浅い職員に対する不祥事防止</p>	<p>○社会人・公務員としての自覚や不祥事を起こさない意識・行動の醸成、服務規律の確保を徹底する。</p>	<p>○職員全体で若手職員を育成しようとする雰囲気構築されており、誰もが積極的に声かけを行った。 ○経験の浅い職員に対しては、総括教諭等による相談体制ができており、孤立することのないような職場環境が整っている。</p>

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

- ・若手職員の割合が多くなった職場であるが、風通しが良く人間関係も良好な職場環境が構築されており、不祥事の未然につながっている。
- ・過去2年間において、部活動指導における不適切指導事案が確認されており、今年度は職員一丸となって信頼回復に取り組んだ。外部講師を招いての職員参加型研修や、各学期ごとに部活動総点検期間を設定し、生徒及び顧問対象のアンケート調査や、状況に応じた聴き取り調査もを行い、未然防止に努めた。この取組は次年度も継続して行いたい。
- ・成績処理や推薦会議の手順に関して、一部再検討を要する事案が発生したが、担当グループに手順の見直しを指示し、改善することができた。次年度は、再検証を行い、再確認を行いたい。